

工事契約関係の入札契約制度の一部改正について（お知らせ）

【最低制限価格計算式の一部変更】（平成21年7月13日以降の公告から実施）

$$\text{最低制限価格(小数点以下切捨て)} = \quad \times (0.98812 \sim 1.01188)$$

は以下の計算式により得た額とします。（小数点以下切捨て）

$$\text{直接工事費} \times 95\% + \text{共通仮設費} \times 90\% + \text{現場管理費} \times 60\% + \text{一般管理費} \times 30\%$$

ただし、上記の計算式で得た額が、税抜き許容価格の100分の75未満の場合は、税抜き許容価格に100分の75を乗じて得た額、税抜き許容価格の100分の85以上の場合は、税抜き許容価格に100分の85を乗じて得た額とします。（いずれも小数点以下切捨て）

0.98812～1.01188の数值は、

$1 + (0.0012 \times X + 0.00012 \times Y) \times Z$ の計算式により得た数值とし、X、Y、Zは次の方式により決定します。

1 電子入札の場合

- (1) 各入札参加者は、電子入札システムで入札金額を登録する際、任意の3桁の数を画面内の「くじ番号」欄に入力します。
- (2) 電子システムサーバが入札金額を受信した時刻の到着ミリ秒の3桁の数を「到着ミリ秒」とします。
- (3) 「くじ番号」と「到着ミリ秒」を合計した数の下3桁を「決定くじ番号」とします。
- (4) 入札参加者の「決定くじ番号」の合計の数の十の位をXとし、一の位をYとします。
- (5) 入札参加者の「決定くじ番号」の合計の数の百の位が奇数の場合はZを1とし、0又は偶数の場合はZを-1とします。

2 郵便入札の場合

- (1) 各入札参加者は、入札書に入札金額を記載する際、任意の3桁の数を「くじ用数字」欄に記載します。
- (2) 入札参加者の「くじ用数字」の合計の数の十の位をXとし、一の位をYとします。
- (3) 入札参加者の「くじ用数字」の合計の数の百の位が奇数の場合はZを1とし、0又は偶数の場合はZを-1とします。